



小国町立小国中学校

令和3. 12. 17 (金) No25  
文責 狭間卓史



### 「笑顔を守る」

13日(月)に「薬物乱用防止教室」を実施しました。講師としてお招きしたのは、「法務少年支援センターくまもと」の鶴田義久さんでした。

つい先日も他県で薬物による痛ましい事件が発生しています。その詳細についての説明が待たれるところですが、薬物は私たちの身近なところに溢れており、正しい理解と対処力を高めることが求められています。

今回の講話は、これまでは全校生徒一斉に聞かせていただいていたところでしたが、コロナ禍での実施ということで会場の人数を減らすために、各学年別に聞かせていただきました。講師の先生は大変だったはずですが、その結果として講話内容を学年の発達段階にあわせて変更いただきありがたい限りでした。

本校生徒が健やかに成長し続け、将来にわたり笑顔溢れる生活を送るためにも、自分や周囲の人の健康を守る行動がとれる人として育ててほしいと願うばかりです。



【薬物は誰にとっても身近な問題です】



【講師の鶴田義久さん】

### 「思いをつなぐ」

9日(木)に次の生徒会本部役員を決める立会演説会と投票を実施しました。

8年生は3人の定数枠に対して7人、7年生は2人の定数枠に対して5人の立候補でした。どの立候補者も応援者も意欲溢れる思いを伝えてくれたことを本当に嬉しく思っています。立会演説会では一人一人から緊張している様子が伝わってきました。限られた時間内で自分の思いを伝えることは難しいことです。ましてや大勢の人前でとなるとなおさらです。それでも立候補したということ、そして、自分の思いを自分の言葉で伝えようとしたこと、その経験自体が、何よりの成長の証だと言えます。今回、選出された生徒を中心に前に進もうとする本校生徒の姿を楽しみにしててください。

【選挙管理委員から投票用紙を受け取る様子】



←  
【記載台や投票箱は役場からお借りしました。】

### 「たゆまぬ努力の先に」

11日・12日に栃木県で開催された「第20回日本バドミントンジュニアグランプリ2021」に9年生の佐藤ゆめさんが出場しました。誰もが出場できる大会ではなく、これまでの各種大会等の実績から、熊本県バドミントン協会の推薦があつての出場でした。当然ながら出場者全員が各都道府県の推薦を得ての参加者ということで、ハイレベルの試合ばかりだったそうです。

大会が終わり小国町に帰り着いたのは日曜日の深夜(やがて曜日が変わる頃)だったとのこと。それでも月曜日の朝には通常通りに登校していた佐藤さんでした。

